

SPACE IMPRESSION

技術の向上など文明的に豊かになった社会に文化的な豊かさをもたらしたい。そんな思いから、私が経営する美研インターナショナルでは「文化的な心の充足を社会に提

供する」という経営理念を掲げ、国内外にて各種アートイベントの間催や出版活動を行っています。

今回開催させていただいた芸術と装花によるアートイベント ROSALBA presents「SPACE IMPRESSION (スペースインプレッション)」もその一つで、歴史的な不況の中でのアートによる心の癒しや、芸術と装花による新しい空間創出を目指して開催にあたり、各方面の方々にお力添えを頂きました。立体アートは石井竜也さんの作品で



左から、秋谷寿之(大和ステンレス工業社長)、秋谷祐子(フラワーアーティスト)、
 藤木裕(美研インターナショナル社長)、石井竜也(歌手・アーティスト)、布施英利
 (東京藝術大学准教授)、嶋崎高史(Craftator.ina)

ゆかいな仲間

です。石井さんはご存知のように、米米CUBのボーカリスト・ソロミュージシャンとしてだけでなく、造形アーティストや空間プロデュースなど幅広い分野で多彩な才能を発揮されています。

飾も手がけていらっしゃるます。装花以外に立体作品を制作するなど、秋谷さんも多彩な才能と感性をお持ちの方です。

その立体アートを見事に装花で彩ってくださったのは、フラワーアーティストの秋谷祐子さんです。秋谷さんは札幌で「GALLERY Impression」を主宰。華道歴三十五年というキャリアを持ち、フラワースクールの経営をはじめ、ホテルや百貨店などで大型ディスプレイの装

また今回のイベントの協力・協賛には、秋谷さんのお兄様であり、立体作品の制作をお手伝いされている大和ステンレス工業代表の秋谷寿之さんをはじめ、sketchJAPAN代表の見上眞司さん、Craftator.inaの嶋崎高史さん、そして芸術評論には

時不況下におきまして、とかくアートは無縁だと思われがちかもしれませんが、そういう状況下だからこそパブルの時とは違ったアートの価値が見えてくるのだと思います。アートの定義は難しく、時に資産と捉えられることもあれば、感性と捉えられることもあります。

その度、展示させていただいた作品はどれも感性に響く素晴らしい作品ばかりです。今回皆さんがお集まり下さった方々に、今後もアートが持つ感性価値を通じて輪が広がっていくば

ご協力を頂きました。百年に一度と言われる世界同

幸いで。

百年に一度と言われる世界同

幸いで。

幸いで。